

安全・安心で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議

第一回総会開催にあたっての内閣総理大臣メッセージ

この度、官民の新たな協働の枠組みとして、「安全・安心で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議」が発足いたしました。政府としてこれを歓迎するとともに、関係各位の御尽力に厚く御礼申し上げます。

今、世界経済は百年に一度と言われる危機に直面しています。しかし、危機は飛躍のための好機でもあります。目の前の危機に対処するだけでなく、時代の変化を乗り越え、「安心と活力ある社会」をつくらなければなりません。

地球温暖化や少子高齢化など、私達を取り巻く課題の多くは、政府だけでは解決できません。もとより、市場にゆだねればすべてが良くなる、というものでもありません。

鍵となるのは、「官から民へ」といったスローガンだけでは捉えきれない、多様な「民」と「官」のあり方です。企業や消費者、労働組合、NPOなど、社会を構成する多様な主体は、互いに補完し合い、協働することではじめて、より大きな役割を果たすことができるのです。

この円卓会議が、協働を支える新たな「公」の枠組みとして、社会に根付いていくことを期待しております。

平成二十一年三月二十四日

内閣総理大臣 麻生 太郎